

いなべ市シルバースローガン

慣れた手も 緩んだ気持ちが 事故招く

\* 事故の発生状況 H22年9月末現在\*

9月発生分	シルバー事業	バス事業	計	年度累計
傷害事故	1	1	2	5
賠償事故	0	0	0	12

## \* 9月は残念ながら2件の事故発生

《シルバー事業の事故概要》

9月3日、あじさいクリーン・センター再生資源処理工場に於いて発生。ハンド・リフト（半自動式ピッキング・マシン）を使用し「回収PETボトル減容化梱包体」をパレットに積載中、積み込み中の「梱包体」が落下しそうになったため、当事者本人がマシンのハンドルから手を離し、手で「梱包体」を押さえ込んで整列させていたとき、誤ってハンドルに左側コマミ付近を打ち付け、目を打撲。「眼球内部破傷」の診断。被災した際、ヘルメットを着用しておらず、悔やまれる事故である。

《バス事業の傷害事故概要》

8月25日発生。70代後半のご婦人が福祉バスに乗車され、運転手は着席を確認し発車した。その直後、ご婦人が席を移動しようと立ち上がった際、バスの加速・振動によってふらつき転倒、その際、胸を強打し肋骨骨折に至った。本件に関しては警察の事情聴取があり、事故の確定までタイム・ラグがあったので、9月の発生件数に算入いたしました。

●福祉バス等乗合バスを利用される皆さん、走行中には絶対に席を立たないよう、厳守してください。



## \* 県シルバー人材センター連合会主催 安全適正就業パトロールの実施

県シ連主催の安全適正就業パトロールが県内拠点エリアで実施され、いなべ市SCからも安全委員が9月10日（金）桑名市SC、14日（火）津市SC、17日（金）亀山市SCに参加いたしました。

視察後の反省会では容赦ない指摘事項等も出され、活発な意見交換が行われ有意義な一日となりました。参加させていただきました安全委員一同、今後のいなべ市SCの活動に生かしてゆきたいと気を引き締めております。

## \* 平成22年度第2回安全委員会だより

去る9月27日（月）、第2回安全委員会が開催されました。この夏は、例年に無く猛暑が続き、シルバー作業も苦勞の連続でしたが、不安全行動の反省点について忌憚のない意見交換を行った中、特に話題となったのは《草刈り・剪定作業中での保護メガネの無着用》といった基本行動の怠慢です。『**自分の身は自分で守る。後悔先に立たず**』を念頭に、安全就業に取り組んでください。

《委員会の主な確認事項》

- ・剪定作業対象の安全パトロールを10～11月（都合によっては12月まで）の間で実施する。パトロール員の選出については、従来、本人の地元である担当地区を外して決めていたが、今後は支部の垣根を越えて、【いなべ市SC安全委員】として行動することとし、制約を設けずに選出する。
- ・バス事業における傷害・損害事故の発生が憂慮され、そうしたことから事故撲滅を目的にいなべ市、シルバー担当理事、担当職員らと交え、【安全パトロールの実施】について検討してゆくことにする。